

2005年の世界経済フォーラムにおいて、各国の環境持続可能性に関するランキングが発表された。世界146ヶ国中、第1位はフィンランド、日本は30位（アジアではトップ）、米国は45位であった。このランキングは、米国の研究者により考案された21の指標（76項目）からなる、環境持続可能性指数（ESI）に基づくものである。ESIの特徴は、環境システム面、環境ストレス面、人間に対する影響面、社会組織の許容能力面、国際貢献面に分類される多面的な評価を行っている点にある。国別、指標別に環境パフォーマンスを比較できるため、政策ツールとしての価値が高い。日本は、環境システム面と環境ストレス面は低い評価結果であったが、前回の2002年のESI評価結果（78位）と比較すると、国際貢献面の高い評価により順位を上げている。

## トピックス 5 日本の環境持続可能性は世界30位

2005年1月27日にスイスのダボスで開催された世界経済フォーラムにおいて、環境持続可能性に関する各国のランキングが発表された。このランキングは、米国イェール大学とコロンビア大学の研究者により考案された21の指標（76項目）からなる、環境持続可能性指数（ESI：Environmental Sustainability Index）に基づくものである。その内容として、環境システム面（大気・水質・水量）、環境ストレス面（大気汚染物質排出量・生態系ストレス・人口・廃棄と消費・水に関するストレス・天然資源の管理）、人間に対する影響面（健康・食糧・天災）、社会組織の許容能力面（環境施策・環境的効率・民間企業活動・科学技術）、国際貢献面（国際プロジェクトへの参加・温室効果ガス・環境負荷物質の越境）の評価が含まれている。ランキングにおいて、世界146ヶ国中、第1位はフィンランド、2位から5位はノルウェー、ウルグアイ、スウェーデン、アイスランドであり、日本は30位（アジアの中ではトップ）であった。また、米国は45位、中国は133位、そして下位国には、イラク、台湾、朝鮮民主主義人民共和国がリストされた。

ESIの結果によると、先進国が直面する環境面の課題は、公害による環境ストレスや廃棄物関連の問題に特化しているが、発展途上国においては資源の枯渇や公害防止の能力欠如等が主な懸念事項となっている。また、ランキング上位国に共通している点は、天然資源の豊富な埋蔵量、低い人口密度、環境と開発に関わる問題への適切な対応であった。一方、ランキング下位国は、自然発生的要因・人的要因の両面で多くの課題を抱えており、これらの対策が適切に行われていなかった。

ESIの考案者であるイェール大学のDaniel C. Esty教授は、「ESIを基準として国別、指標別に環境パフォーマンスを比較でき、価値ある政策ツールを得ることが可能になる。また、ESIの評価を通

して環境持続性を向上させるような取り組みをおこなう国とそうでない国との差が浮き彫りになり、より良い成果を達成するためのプレッシャーが生じる」と述べている。

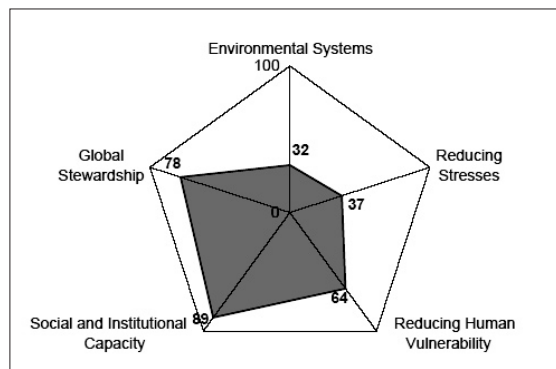
日本は、2002年発表のESIランキングでは78位であったが、今回は特に国際貢献面の評価を上げて30位となった。しかし、環境システム面（特に、生物多様性・土地・水量）と環境ストレス面（特に、大気汚染物質排出量・水・天然資源の管理）の評価は低い結果として示されており、今後こうした分野への一層の取り組みが期待される。

### ESI ランキング抜粋

ESI Rank	Country Name	ESI Score						
1	Finland	75.1	25	Central Afr. Rep.	58.7	137	Yemen	37.3
2	Norway	73.4	26	Denmark	58.2	138	Kuwait	36.6
3	Uruguay	71.8	27	Estonia	58.2	139	Trinidad & Tobago	36.3
4	Sweden	71.7	28	Panama	57.7	140	Sudan	35.9
5	Iceland	70.8	29	Slovenia	57.5	141	Haiti	34.8
6	Canada	64.4	30	Japan	57.3	142	Uzbekistan	34.4
7	Switzerland	63.7	31	Germany	56.9	143	Iraq	33.6
8	Guyana	62.9	32	Namibia	56.7	144	Turkmenistan	33.1
9	Argentina	62.7	33	Russia	56.1	145	Taiwan	32.7
10	Austria	62.7	34	Botswana	55.9	146	North Korea	29.2

[http://www.yale.edu/esi/ESI2005\\_Main\\_Report.pdf](http://www.yale.edu/esi/ESI2005_Main_Report.pdf) より

### 日本のESI大分類別評価



[http://www.yale.edu/esi/b\\_countryprofiles.pdf](http://www.yale.edu/esi/b_countryprofiles.pdf) より